公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成21年6月17日

施 設 名 こうち男女共同参画センター	所管課名	文化生活部 県民生活·男女共同参画課
---------------------	------	-----------------------

1 施設の概要

指定管理者名	(財)こうち男女共同参画社会づくり財団 指定期間 平成18年4月1日 ~ 平成21年3月31日 平成21年4月1日 ~ 平成24年3月31日		
施設所在地	高知市旭町三丁目115番地		
事業内容	1 男女共同参画の推進に関する情報の収集及び提供 2 男女共同参画の推進に関する調査研究 3 男女共同参画の推進に対する県民の理解を深めるための広報及び啓発 4 男女共同参画の推進に関する講演会、講習会、研修会等の開催 5 男女共同参画を推進する人材の育成 6 女性問題の解決その他男女共同参画の推進に向けた相談 7 男女共同参画の推進に資する活動を行う団体等の相互交流の促進及び自主的 活動への支援 8 その他センターの設置の目的を達成するために必要な業務		
〇 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 館の概要 敷地面積 2,267.81㎡、建築面積 1,619.08㎡、 延床面積 4,974.09㎡ 鉄筋コンクリート造、南棟5階、北棟3階(平成10年10月竣工) 入所機関 高知県消費生活センター、母子家庭等就業・自立支援センター他 貸施設等 創作実習室・大会議室・研修室(3室)・調理実習室・和室(2室)・視聴覚室・レクリェーション室・コインロッカー 休館日 第2水曜日、国民の祝日及び年末年始 開館時間 土・日・月以外の日は午前9時~午後9時、土・日・月は午前9時~午後5時			
職員体制	常勤職員: 4人 非常勤職員: 6人 合計: 10人		

2 収支の状況 単位:千円

		19年度(決算)	20年度(決算)	21年度(予算)
収	県支出金	76,734	72,395	72,564
	使用料•手数料	9,618	9,238	8,960
	その他	13,260	11,637	11,625
	収入計 (a)	99,612	93,270	93,149
	事業費	14,202	16,383	15,817
支出	管理運営費	36,322	38,879	35,426
	人件費	44,036	35,113	41,755
	その他	1,302	989	151
	支出計 (b)	95,862	91,364	93,149

3 利用状況

	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	66,846	67,442	目標は設定していない
②利用者意見等の反映	施設利用者アンケート 時期・方法 H20 4/13~2 回答数 59件(回答率79 良い評価 対応・接客94.9 改善を求めるもの 施設10 を	%、施設96.4%、設備94.6%、 件、駐車場7件、料金面2件 加者にアンケート(10点評価で 浸高:9.8点、最低:7.8点	等にアンケート用紙を配布 総合評価87.9%など 、予約2件、利用時間1件な での満足度も調査。41事業)
③その他特記事項	<u>反映</u>		

4 平成20年度業務評価

項	a	評価できる取組等	改善すべき課題
①設置目的の確実な に関する事項	⊋施	・設置目的に沿って、公益的な視点に立った事業が行われているとともに、開館10周年という節目でもあり、更なる飛躍に向けた取り組みに着手している。・非営利団体の利用を第一に考えているため、収入は減になっているが、それを補う経費節減の努力を継続している。	
②施設の平等利用の に関する事項	D確保	・女性、男性にかかわらず、あらゆる世代を対象とした事業が行われ、男性や子育て中の者の新規参加者が増えている。 ・男女共同参画に関するデータ集を作成するとともに、情報誌「ソーレ・スコープ」等は、ボランティアグループと協働で作成するなど、その内容が充実してきている。	・子育て中や働き盛りの男性が参加しや すいための仕掛けづくり。(企業や団体と の協力態勢)
③施設の有効利用と の効果に関する事		・高知市以外での取り組みや水曜日の利用者の増について努力されている。 ・アンケートによる利用者の満足度も高く、また授乳コーナーの新設などの改善の努力もされている。	・引き続き利用機会の少ない地域や水曜日の利用者増への取組みを期待する。 ・事業への参加者の一層の増加を図るための方策が必要である。
④業務を安定して行・人的能力に関する		・職員の各種研修参加などにより能力向上が図られ、時宜を得た事業企画がなされている。	
⑤管理代行料に関す	「る事項	・経費削減や助成金の確保をするなど努力が見られる。	
でおり ・男女 総合評価 B がりか ・男女 発やが		・この3年間、毎年、さまざまな工夫や努力により、年を追うごとに着実に成果をあげており、各種取り組みは大いに評価できる。 ・男女共同参画を推進する拠点として、男性や子育て中の女性らの取り組みへの努力が認められる。新しくリピーターとなった人、なることが期待される人々の横のつながりが生まれることが望まれる。 ・男女共同参画社会づくりを推進するために、いろいろな工夫をし、努力している。啓発や広報をより一層工夫し、利用者を増やす努力が望まれる。なお、引き続き利用機会の少ない地域への取り組みや水曜日の利用者増への取り組みを期待する。	

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- 【評価の目安】
- B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの